



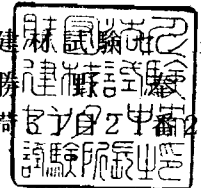
受付第 0 6 A 0 0 3 4 号
受付日：平成 1 8 年 4 月 3 日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成 1 8 年 5 月 1 5 日

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝 幸
埼玉県草加市稲荷 2 丁目 2 番 2 0 号



試験名称	木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 タナカ住宅資材事業部 所在地：茨城県土浦市大畑 7 0 2 番 1 号
試験体 (依頼者 提出資料)	1. 接合金物 名称：木造建築用柱脚仕口金物 商品名：はしらどめリトルコーナー 使用条件：接合金物は 2 個 1 組で使用し、柱の直交する 2 側面に設置する。 用途：柱脚の仕口に使用する金物（隅柱型） 寸法：45×26.3×43mm，厚さ 2.3mm（図-3 参照） 材質：SGHC Z27 (JIS G 3302) 2. 接合具 木ねじ：TB-66D，接合金物 1 個あたり柱側 3 本，土台側 3 本使用 長さ：65mm，ねじ部の長さ：54mm，ねじ部の外径：6mm 谷の径：3.7mm，ねじ山のピッチ：3mm，ねじ先の形状：とがり先 材質：SWCH 22K (JIS G 3507-2)，表面处理：ダクロタイズド処理 六角ボルト M12：長さ：165mm，ねじ部の長さ：M12×53mm，胴部径：10.6mm 材質：SWRM 10 (JIS G 3505) 表面处理：Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610 及び JIS H 8625) 六角ナット M12：材質：SWRM 10，表面处理：Ep-Fe/Zn 5/CM2 C 角座金：40×40mm，厚さ 4.5mm，材質：SPHC (JIS G 3131) 表面处理：Ep-Fe/Zn 5/CM2 C 3. 使用軸組 柱及び土台：樹種：すぎ，寸法：105×105mm 4. 試験体数 7 体（うち 1 体は予備試験体） 参照：図-1～図-4（試験体の形状・寸法）
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の 2 章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1 に示す。
試験結果	短期基準引張耐力 (Pot)：11.5kN 耐力算定基礎資料：表-2 ただし，土台固定用のアンカーボルト (M12) 荷重-変位曲線：図-5～図-7 は柱心から 160mm の位置 2 箇所を設置する。破壊状況：写真-1～写真-6
備考	当該試験結果は，平成 1 2 年建設省告示第 1 4 6 0 号表三（へ）に定める 10kN 用引き寄せ金物（必要耐力 10.0kN）に該当する。
試験期間	平成 1 8 年 4 月 3 日 ～ 4 日
担当者	構造グループ 試験監督者 川 上 修 試験責任者 高 橋 祐 試験実施者 室 星 大 啓 和
試験場所	中央試験所